

2015/03/15

## カンタベリー大学 交換留学報告書

工学部システム創成学科 4年

垣谷健太

期間：2014年7月～11月

大学：カンタベリー大学（ニュージーランド）

### 留学準備

2013年度に工学部システム創成学科に進学した頃に、学部生のうちに留学に行き色々な文化を持った人と過ごす経験を得たいという希望を漠然と持ち始めました。その後 OICE の交換留学制度を知り、調べる中で留学に行きたいという気持ちを強めていきました。2013年の夏に TOEFL を受け、同年秋にカンタベリー大学の交換留学に申し込み、年末に受け入れを確定していただきました。留学に行くためにとりわけ新しい勉強をしたということはありませんでした。カンタベリー大学の学期が7月からでしたので、4月から3か月間は東南アジアとヨーロッパを旅行して過ごしました。この期間で英語力がついたかなと感じています。

### 大学を選んだ理由

まず英語が第一言語であるという条件で国を絞り、旅行が趣味ということもあり自然の豊かなニュージーランドに興味を持ちました。その上で交換留学先のリストにあったカンタベリー大学のホームページを見て、工学に強い大学であることや留学生が多数在籍することなどを知り、志望するに至りました。

英語が第一言語である国にある大学にはさまざまな国からの留学生が来ているので、いい選択であったと思っています。

### 授業

東京大学の仕組みとは異なり、3～5個の授業を履修する仕組みでした。カンタベリー大学では Environmental Geohazards と Writing Academic Essay と Physics を受講しました。Environmental Geohazards は現在の専攻と近い内容であるため受講しました。フィールドワークが複数回あり非常に楽しかったです。Writing Academic Essay は英語で上手な論文が書けるようになりたいと思い受講しました。クラスメイトが全員ニュージーランド人の中で英語について学んだので一番苦勞した授業でした。Physics は内容については高校生の時に学習したようなことでしたが、改めて英語で学べたことには意義を感じています。

## 生活

朝起きて学校に行き、ジムに行き、夕食を食べ、友達と寮で過ごすという毎日でした。東京と比べるとできることは少なく単調でしたが、リラックスした雰囲気の良い毎日でした。Ilam Apartments という大学の寮で生活したおかげで非常にたくさんの友達ができ充実しました。留学生でサッカーチームを作り大会で優勝したことが一番の思い出です。留学中は50本ほどの映画を見ました。趣味としてみていた映画ですが、それにより英語力がついたという実感があります。



写真：サッカー大会優勝時

## その他

14日間のミッドタームブレイクに同じ寮の留学生の友達とキャンピングカーでニュージーランドの北島を縦断しました。オークランドから出発し、最北端のケープリエンガまで行き、そこからトンガリロ国立公園やホビット庄などを通りウェリントンまで移動しました。世界一周分の自然があると称されるニュージーランドを感じるとともに、様々な国から集まった友達と狭いキャンピングカーで10日以上も旅行するという貴重な経験となりました。



写真：ロトルアでの集合写真